

さあ よく見て泳ごう

水深図

市内の各海水浴場での水深の調査結果がこのほどまとまりました。この夏は下記の水深図をくみみて海水浴を楽しみましょう。

水深調査状況

市内の各海水浴場とも、堤堤のくい付近やテトラポットの周辺、離岸堤の切れ目などは急に深くなっています。また、風や潮流などにより水深に変化するので、注意下さい。

水深一メートル前後のところを波打ち際と平行に泳ごうと心がけて下さい。

【上新町】波打ち際から沖合五十メートルの地点までは、砂浜と平行に一メートル前後の水深ですが、浜茶屋と広場の間の沖合が急に深くなるので注意。

【内灘】全般的に浅瀬であるが、広場に入る道路の沖合で、急に深くなる箇所があるので注意。

【寺尾浜】左側テトラポット前は波打ち際から約十メートルの地点までは一メートル前後の水深で、一部浅瀬がある。右側一メートル前後の水深は波打ち際から沖合三十メートルの地点までは砂浜と平行に一メートル前後の水深である。

【小針浜】波打ち際から沖合一メートルの地点までは、砂浜と平行に一メートル前後の水深である。

海水浴における注意



- ①一人では絶対に泳がない。
- ②水に入る前には必ず準備運動をする。
- ③最初は足先から頭までいったん水でぬらし、水温になれてから水に入る。
- ④寒い時や疲労している時、または強い日差しを浴びた直後は海に入らない。
- ⑤空腹時や食事の直後、または酒類を飲んだ後は泳がない。
- ⑥板や浮輪に頼って自分の能力以上に沖へ出ない。

